

# これからの大山町を 維持発展させていくために！

## 地域自主組織が トークセッション

11月の光徳地区の設立をもって大山町内の旧小学校区10地区全てで地域自主組織が設立されました。そこで、各地区のキーパーソンが集まり、これまでの取り組みや今後の思いについて話し合うトークセッションを行いました。

### 参加者

ふれあいの郷から山（高麗）	山根 讓
大山の里所子	岡田 貢
まちづくり大山	馬田 栄司
かくわの郷庄内	中原 哲也
支え合いのまち御来屋	島田 一恵
なわのわ（名和）	大見謝将五
さらり光徳	野口 信昭
やらいや逢坂	小林 直哉
さばらいや上中山	奥田 幸子
楽しもなかやま（下中山）	西本 憲人

### トーク① いい地域って どんな地域？

【所子・岡田】『みんなが集える地域』。楽しみをもって集まり、若さを取り戻すこと。集落も増えたので、若い人がもっと集まれる場所を増やし、皆が一緒に遊べたり楽しめたりする場所をつくりたい。

【下中山・西本】『多様性の受け入れ』。一人ひとりが輝けて、まちに認められ、やりたいことができる地域になればと思う。これまでの取り組みを大切にしながら、新たなことも応援したい。まずは自分たちが幸せであること。

【御来屋・島田】『どこの中でもこ



▲トークセッションの様子は、大山チャンネルの番組でも紹介

飯が食べられるようなアットホームな地域』。頼ったり頼られたり、何でも言える地域になれば安心して暮らせる。世代間交流が生まれれば、様々なことを教えてあげることができ、子どもたちも何かしたいときには大人の力が必要で、年代をつなぐ重要性を感じる。

【庄内・中原】『風通しのよい地域』。雰囲気良く、お互いが素直な気持ちで声掛けできれば集落間の連携も進む。私自身これまで家族行動がメインで、地域の人との交流ができなかったが、まちづくりに関わることで知り合いも増えた。

【高麗・山根】『一人ひとりがイキイキと能力を発揮できる地域』。個々の能力が発揮できて、イキイキと生きる人たちが増えるといい。地域にとって喜ばれる存在となる。

【名和・大見謝】『つくる人と遊ぶ人が増えたらいい』。ないものはないではなく、自分たちで作ろうという行動が増えたらいい。また、趣味や遊びができる場づくりにより次の循環が生まれる。地域の人の意識・関係性を変えるお手伝いをする。

【上中山・奥田】『潤う居場所づくり』。また行ってみようと思うような場所。つながりが一番大切。拠点には11グループあるが、みんなが持ち味を出している。若者グループや保育園との連携など世代間交流も生まれている。

【逢坂・小林】『人の流れがある地域』。大山町の魅力は「人」。活動をする中で、いろんな人に出会い、面白いまちと感じている。出会いがきっかけで、次のつながりができる。継続的に出会う仕組み、場所、集落活動など、つながる流れがあるまちがいい。

【大山・馬田】『楽』。楽じゃないとみんなやらない。負担だと来なくなる。まずは自分の集落が楽しく、次に地区、町全体と波及させたい。地域の